

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2005 年 1 月 27 日 (27.01.2005)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2005/008119 A1

(51) 国際特許分類: F16L 19/08
(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/009919
(22) 国際出願日: 2004 年 7 月 12 日 (12.07.2004)
(25) 国際出願の言語: 日本語
(26) 国際公開の言語: 日本語
(30) 優先権データ:
特願2003-276937 2003 年 7 月 18 日 (18.07.2003) JP
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): イハラサイエンス株式会社 (IHARA SCIENCE CORPORATION) [JP/JP]; 〒1400014 東京都品川区大井 4 丁

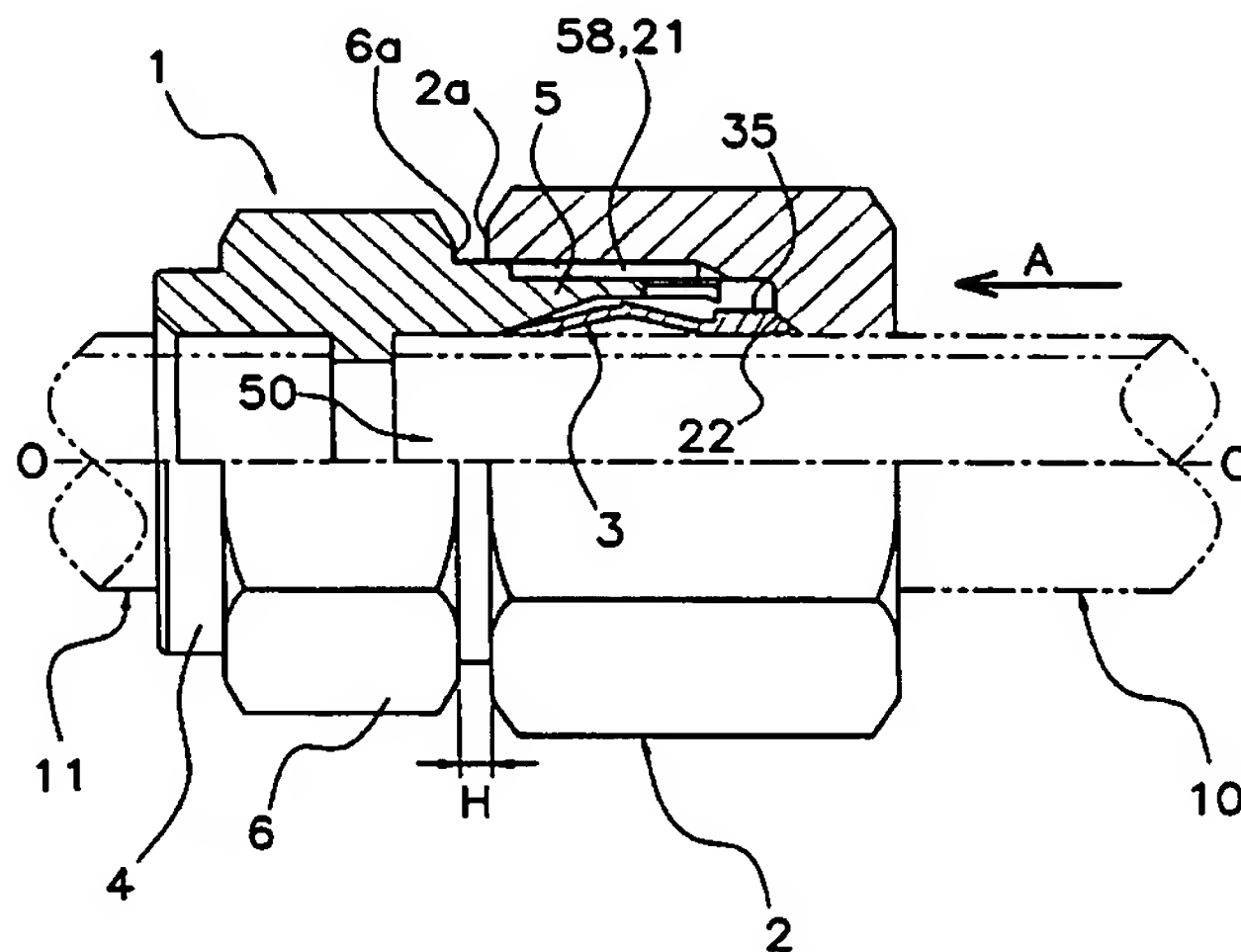
目 1 3 番 1 7 号 Tokyo (JP). ダイキン工業株式会社 (DAIKIN INDUSTRIES, LTD.) [JP/JP]; 〒5308323 大阪府大阪市北区中崎西 2 丁目 4 番 1 2 号 梅田センタービル Osaka (JP).

(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 浅川 守 (ASAKAWA, Mamoru) [JP/JP]; 〒1400014 東京都品川区大井 4 丁目 1 3 番 1 7 号 イハラサイエンス株式会社内 Tokyo (JP). 田中 順一郎 (TANAKA, Junichirou) [JP/JP]; 〒5258526 滋賀県草津市岡本町字大谷 1 0 0 0 番地の 2 ダイキン工業株式会社 滋賀製作所内 Shiga (JP). 藤波 功 (FUJINAMI, Isao) [JP/JP]; 〒5258526 滋賀県草津市岡本町字大谷 1 0 0 0 番地の 2 ダイキン工業株式会社 滋賀製作所内 Shiga (JP).

[続葉有]

(54) Title: PIPE JOINT

(54) 発明の名称: 管継手



(57) Abstract: A pipe joint capable of solving a problem with a conventional pipe joint wherein a defect occurs when, after a nut is removed and a pipe and a sleeve are withdrawn from a joint body, the pipe is re-joined thereto by using these parts, i.e., airtightness and pressure resistance are not secured. The pipe joint comprises the joint body (1) having a joining hole (50) and a male screw part (58), the sleeve (3), and the nut (2). The nut (2) is screwed onto the male screw part (58) in the state of the pipe (10) and the sleeve (3) being inserted into the joining hole (50) to join the pipe (10) to a joining part (52) through the sleeve (3). The sleeve (3) is fitted to the tube (10) and the joining part (52) by the screwing of the nut (2), deformed to expand in the radial outer direction, and after the nut (2) is removed from the male screw part (58) and the tube (10) and the sleeve (3) are withdrawn from the joining hole (50), cannot be inserted to a specified position in the joining hole (50).

(57) 要約: 本発明の目的は、ナットを外して管およびスリーブを継手本体から引き抜いた後にこれらを使用して管を再接合させることにより生じる不具合、すなわち、気密や耐圧が確保できていない等の問題点を解決することにある。本発明に係る継手は、接合孔 (50) と雄ネジ部 (58) とを有する継手本体 (1) と、スリーブ (3) と、ナット (2) とを備える。ナット (2)

[続葉有]

SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ,
VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SI, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

- 添付公開書類：
一 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

）は、管（１０）およびスリーブ（３）が接合孔（５０）に挿入された状態で雄ネジ部（５８）にねじ込まれ、スリーブ（３）を介して管（１０）を接合部（５２）に接合する。スリーブ（３）は、ナット（２）のねじ込みによって、管（１０）と接合部（５２）とに密着するとともに、径方向外方に拡張する変形を起こし、ナット（２）を雄ネジ部（５８）から外して管（１０）およびスリーブ（３）を接合孔（５０）から引き抜いた後には、接合孔（５０）に対して所定位置まで挿入することができなくなる。